

## 令和2年度上半期 学会誌編集委員会活動報告

委員長：井上 健 副委員長：上條 岳彦

委員：伊勢 一哉、加藤 元博、野崎 美和子、澤田 明久、宗崎 良太、橋井 佳子  
脇坂 宗親

日本小児血液・がん学会雑誌について

### ① 56巻 期間内発刊号数

56-1号 (2019年4月12日公開)

56-2号 (2019年9月10日公開)

56-3号 (2019年11月16日公開)

56-4号 (2019年12月19日公開)

56-5号 (2020年2月7日公開)

### ② 期間内投稿状況 (原著、症例報告、総説)

一般投稿数 34編

(内訳)

原著 12編

症例報告 20編

総説 1編

その他 1編

依頼総説 (講演記録) 42編

期間内アクセプト (依頼総説を除く) 30編

(内訳)

原著 9編

症例報告 20編

総説 1編

期間内リジェクト 5編

(内訳)

原著 1編 (取り下げ)

症例報告 4編 (うち、取り下げ1編)

総説 0編

### ③ その他

- ・ 共著者の著作権譲渡同意書について  
責任著者が作成しやすい様式と仕様に変更することを審議した。
- ・ 依頼原稿での英文抄録に関して  
会員の講演記録（依頼総説）の場合の英文アブストラクトを作成辞退について議論を行った。
- ・ 各論文のフッタ（ランニングタイトル）の文字制限について  
投稿規定では「全角 15 字以内」となっているが、「全角 20 字以内」に変更された。
- ・ 査読者の選定について  
査読者を選定する際、断られるケースがあり、次点候補者を予め編集員会で選出できることとした。
- ・ 講演記録（依頼総説）の著者の校正戻りについて  
依頼演者から、多数の校正箇所が出た場合は校正戻りも可能とした。
- ・ 二重投稿に関する議論について  
PBC にレターとして掲載されたものに、データを追加して当学会雑誌に投稿できるか？ という問い合わせについては原著として難しく、一般総説として投稿を勧めることになった。
- ・ 最終判定の結果通知について  
最終判定の結果はこれまで査読者に通知していないが、今後は送信することになった。

以上